

基本情報

科目分類	高度教養科目	開講年次	3・4年
時間割コード	3B873	開講区分	第3クォーター
開講科目名	高度教養セミナー経営学部（スタートアップのビジネスプランニング）	曜日・時限等	木3（対面）
成績入力担当	熊野 正樹	単位数	1.0
授業形態	演習	ナンバリングコード	B1BB503

担当教員一覧

詳細情報

■授業のテーマ
この講義では、ビジネスプランの作成という実践的な課題を通して、スタートアップについて学びます。受講生にはスタートアップの経営者になったつもりで、課題に取り組んでももらいます。経営者は、「誰のどんな課題をどうやって解決するか」に注力し、広くスタートアップの経営全般について考える必要があります。これらを通して、スタートアップへの理解を深めると同時に、広く社会を見渡す力、その中からビジネスチャンスを発見する力、それを実現にむけてプランニングする力、それをわかりやすく人に伝える力を養います。また、アントレプレナーシップセンターが実施する神戸大学ビジネスプランコンテストへの応募を行い、学内イベントとの連携を図ります。起業、経営、スタートアップに関心のある学生の受講を歓迎します。
■授業の到達目標
・ビジネスプランニングに必要な基礎知識（課題の設定、解決方法、市場規模、競合、チーム、ファイナンス等）を学習する。また、学生がグループワークを通じてビジネスプランを議論し、わかりやすくプレゼンテーションするスキルを学習する。
■授業の概要と計画
①授業形態 この講義は対面で実施する。 ②授業の概要と計画 本講義は対面で実施します。具体的な各回の内容は以下のとおりです。なお、新型コロナウイルス感染拡大により授業形態が変更となった場合はBeefでお知らせします。 第1回 オリエンテーション 第2回 ビジネスアイデアの発表・チームビルディング 第3回 ビジネスプランの基礎知識 第4回 ビジネスプランの発表とブラッシュアップ 第5回 ビジネスプランの発表とブラッシュアップ 第6回 ビジネスプランの発表とブラッシュアップ 第7回 ビジネスプラン発表会 第8回 まとめとレポート
■成績評価方法
・レポート試験60%、授業への参加度（各回の発言度等）40%で評価する。

■成績評価基準	
・ビジネスプランについて適切に論理展開を行いレポート作成ができるか ・ビジネスプランについて正確に理解して、発表を行っているか。	
■履修上の注意（関連科目情報）	
・ノートPCを持参し、パワーポイントを作成する。 ・グループワークを実施する。 <関連科目> ・ビジネスアイデアクリエーション ・アントレプレナーシップとイノベーション	
■事前・事後学修	
事前学修：各回の授業で取り扱う項目について、教科書（又はBEEF に事前掲載した資料）の関係する部分を読んだ上で、疑問点をまとめておくこと。 事後学修：授業でのビジネスプランに対するフィードバックに基づき、ビジネスプランをブラッシュアップすること。 ・本学では1 単位あたりの学修時間を45 時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。	
■学生へのメッセージ	
グループワークを中心とした授業（演習形式のセミナー）であるため、毎回の出席が必須であり、授業時間外の活動、チームメンバーとの共同作業が必要となります。この点を十分理解した上で申し込んでください。	
■教科書	
入門 起業の科学 / 田所雅之：日経BP , 2019年 , ISBN:9784296100941	
■参考書・参考資料等	
Pitch ピッチ 世界を変える提案のメソッド / Open Network Lab：インプレス , 2020年 , ISBN:429500913X	
■授業における使用言語	
日本語	
■キーワード	
実務家教員 パソコン 長文レポート（ビジネスプラン）	
■参考URL	

担当教員一覧

教員	所属
熊野 正樹	産官学連携本部

基本情報

科目分類	高度教養科目	開講年次	3・4年
時間割コード	4B874	開講区分	第4クォーター
開講科目名	ビジネスアイデアクリエーション（高度教養科目）	曜日・時限等	水3（対面）
成績入力担当	坂井 貴行	単位数	1.0
授業形態	講義	ナンバリングコード	B1BB503

担当教員一覧

詳細情報

■授業のテーマ
魅力的なビジネスアイデアを創出するためには、数多くのアイデアの発散・収束を繰り返し、ブラッシュアップさせていくことが重要です。本講義では、バックキャストिंग及びフォアキャストिंगによるビジネスアイデアクリエーションの2つの基礎知識を習得することで、将来のスタートアップ起業や新事業創出に必要なビジネスプランニングに繋げるためのビジネスアイデア創出法を学習します。
■授業の到達目標
将来のスタートアップ起業や新事業創出を実現するために、基礎知識の習得を通して、優れたビジネスアイデアを生み出す力を身につけることを目的とします。また、演習、グループワーク、プレゼンテーションを通して、革新的で前向きなマインドセットを身に付け、自らいノベーションを生み出すことのできる能力を涵養することを目指します。
■授業の概要と計画
第1回:イントロダクション ・アイデア発想法 第2回:バックキャストिंगによるビジネスアイデアクリエーションⅠ ・SDGsとターゲットィング 第3回:バックキャストिंगによるビジネスアイデアクリエーションⅡ ・ソーシャルコンセプトの設計フレームワーク 第4回:バックキャストिंगによるビジネスアイデアクリエーションⅢ ・PEST分析 第5回:バックキャストिंगによるビジネスアイデアクリエーションⅣ ・ジョブ理論 第6回:フォアキャストिंगによるビジネスアイデアクリエーションⅠ ・デザイン思考演習 第7回:フォアキャストिंगによるビジネスアイデアクリエーションⅡ ・MFT分析 ・市場細分化チャート 第8回:フォアキャストिंगによるビジネスアイデアクリエーションⅢ ・ストーリーテリング ・プレゼンテーション ・担当教員は科学技術の事業化・商業化に関して20年以上の実務経験があります。具体的な事例を交えながら実務の視点も積極的に取り入れた授業の実施を心がけます。 ・本講義は対面で実施します。なお授業形態が変更となった場合はBEEFでお知らせします。

■成績評価方法	
(1)出欠状況とグループワークへの参加・貢献（30%） (2)中間発表/最終発表におけるビジネスアイデアの評価（50%） (3)最終レポート（20%）	
■成績評価基準	
(1)の評価基準： 毎回の出席は必須とします。またグループワークにおいて、グループメンバーと協調して積極的に取り組めたかを評価します。 (2)の評価基準： ビジネスアイデアの社会的意義、独創性、実現可能性について評価します。 (3)の評価基準： 本授業におけるビジネスアイデアクリエーションに関する理解度について評価します。	
■履修上の注意（関連科目情報）	
ビジネスプランニング（経営学部開講科目：高度教養セミナー）と関連しています。 受講後は、神戸大学アントレプレナーシップセンターなどが主催するビジネスプランコンテスト等にチャレンジしていただくことを推奨しています。	
■事前・事後学修	
演習、グループワーク、プレゼンテーションでは、授業時間内外でメンバーと協力して進めてください。 本学では、1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。	
■学生へのメッセージ	
本授業を通して、0（ゼロ）から1（イチ）を産み出す楽しさ、ビジネスアイデアの発想法、スタートアップ起業のチャレンジ、科学技術の商業化による社会実装に興味をもっていただき、神戸大学アントレプレナーシップセンターなどが主催するビジネスプランコンテストへの応募や実社会で大活躍していただくことを期待しています。	
■教科書	
教科書はありません。BEEFで講義資料を配布します。	
■参考書・参考資料等	
前野隆司『システム×デザイン思考で世界を変える』（日経BP社）、2014. ビル・オーレット『ビジネス・クリエイション』（ダイヤモンド社）、2014. トム・ケリー『クリエイティブ・マインドセット』（日経BP社）、2014. 坂井貴行・忽那憲治『ファミリービジネスのための産学連携のススメ』、2021.	
■授業における使用言語	
日本語	
■キーワード	
実務経験教員、パソコン、アントレプレナーシップ、アイデアクリエーション、テクノロジーコマーシャライゼーション	
■参考URL	

担当教員一覧

教員	所属
坂井 貴行	科学技術イノベーション研究科